

## 序 文

洲本城は、戦国時代に淡路水軍を率いた安宅氏によって築られました。標高 133m の三熊山山頂に位置するこの城は、天正 13 年（1585）に入城した脇坂安治によって二条の登り石垣を持つ総石垣の堅城に改修されました。慶長 14 年（1609）、脇坂氏の伊予大洲転封に伴い事実上の廃城となりますが、石垣は残され今日に至っています。

城の誕生により、古代より続いた淡路国における政治経済の中心地が、三原平野から洲本に移り、以後淡路国の政庁としての役割を果たしていくことになりました。

史跡洲本城跡は、平成 11 年（1999）1 月 14 日に国の史跡に指定され、平成 14 年（2002）3 月には『史跡洲本城跡保存管理計画策定報告書』を策定しました。この度は、上記計画に基づき、『史跡洲本城跡整備基本計画』を策定し、今後の洲本城のあるべき姿を、市民の皆様とともに築き上げていきたいと考えています。

最後になりましたが、本計画の策定にあたり、史跡洲本城跡整備基本計画策定委員会の委員の皆様をはじめ、城跡の保存と活用に携わる全ての皆様に、心から深謝申し上げます。

令和 3 年 3 月

洲本市教育委員会  
教育長 本條 滋人